**わがまち企業訪問　市内の優れた企業を紹介します**

**Vol.7　古川ミート**

社名　株式会社古川ミート

所在地　古川飯川字十文字105番地1

代表者　代表取締役 鈴木 優哉

設立　昭和53年

　食肉製品の製造、加工、販売を行う株式会社古川ミートは、昭和53年の創業以来、安全安心でおいしい食肉を提供しています。「地域と共に歩み、育む企業」などを経営理念に、市内の飲食店や学校給食など、わたしたちに食の幸せを届けています。

　食肉加工センターでは、平成26年から、原料にこだわり肉本来の味を生かした独自製法で、ハム・ソーセージなどの加工品製造を行っています。

　平成28年には、ドイツのフランクフルトで3年に1度開催される「ＩＦＦＡ国際食肉コンテスト」において、3つの製品が金賞に輝きました。より消費者に近いところへという思いから、市内に直営２店舗を展開しています。

　本場ドイツ製の機械で製造された大崎産「伊達ざくらポーク」の自家製ハム・ベーコンは、大崎市のふるさと納税の返礼品の一つとしても採用されています。

　入社5年目の鈴木佳哉さんは食肉加工センターに勤務。ハム・ソーセージの加工や食肉のスライス加工などを担当しています。食品を扱う上で基本である衛生面を最優先に考え、安全安心を保持しながら品質向上を心がけています。

　入社当時は経験不足から、目上の人に対する接し方に戸惑った部分があったそうですが、現在は副センター長という立場で、上司と部下のつなぎ役として、従業員間のコミュニケーションを大切にしているそうです。今後も働きやすい職場、自分の力が発揮でき、協調性のある人材を育てたいと話してくれました。

　飲食店などへの納品に直接足を運び、顧客と話す機会では、「消費者の声を聞くことが、さらに良いものを提供したいというやりがいにつながっている」という鈴木さん。市内の各種イベント時には牛肉１００％の「ワイルドバーガー」を自ら商品開発して提供。消費者と触れ合う機会を増やしています。

　入社2年目の門間孝行さんは本社工場に勤務。肉が好きで食品の製造過程などに興味を持ち、現在の職に就いたそうです。

　冷凍された原料肉を検品する重要な作業を主に担当し、機械スライス工程にも携わっています。検品作業では、獣毛などの異物がないか細心の注意を払いながら行っているという門間さん。

　できることが次第に増えて充実感がある一方で、まだ分からないことが多く作業スピードについていけない部分もあるそうです。上司や先輩が細かく指導してくれることがありがたく、「現場をしっかりと見て、自分ができることを少しずつ覚え、後輩に伝えていけるような存在になりたい」と話してくれました。上司が寄り添ってくれる環境が、信頼関係を厚くし、働きやすい職場につながっています。

　これからも、食の宝庫である大崎で、地域と共に歩みながら、わたしたちに「おいしい幸せ」を届け続ける企業です。

写真：鈴木 佳哉さん、門間 孝行さん

**大崎市が進める地方創生⑦**

**話し合う協働のまちづくり**

**市民ワールドカフェ**

　「大崎市話し合う協働のまちづくり条例」を平成26年4月に施行し、話し合いを大切にした協働のまちづくりを進めている大崎市。

　1月27日に大崎市役所本庁舎建設に伴う市民ワールドカフェ、翌28日におおさき高校生タウンミーティングを開催し、新しく建設する本庁舎への夢や期待、まちづくりの中で果たす役割や機能を話し合いました。

**話し合いから生まれるまちづくりへの期待**

　1月27日・28日を合わせて延べ86人が参加。少人数の班に分かれて、気付いたことやアイデアを書き出しながら話し合いが進められました。途中で班員を入れ替え、それまで話し合った内容や意見を共有し合いながら議論を深めていました。

　27日は、10代から60代を超える幅広い世代の市民が意見交換を行いました。「用事がないと市役所に行かない」「一カ所で手続きが済ませられない」など、改善を求める提言のほか、「食堂や喫茶店があると用事以外でも市役所を利用する」「総合窓口やワンストップサービスがあると便利」などの提案がありました。市民が話し合うことで地域を身近に考えるだけでなく、より良い方向へのアイデアも生まれます。

　28日には、高校生から「市役所にも学習スペースを設置してほしい」「写真映えする建物や店があるといい」など、本庁舎の建設に期待を込めた意見も出されました。

**市役所の役割とまちづくり**

　話し合いの結果、市役所の役割として「気軽に利用できる場所」「人が集まれる場所」などの意見が多く、また、「対話が生まれる」「多くの人と知り合える」などが実現できるといった意見が出されました。多くの参加者が、交流の場としての機能を持つ市役所を期待しています。

　今回開催した市民ワールドカフェとおおさき高校生タウンミーティングで出された意見は、2月に実施したパブリックコメントでの意見とともに、今年度中に策定する本庁舎建設の基本計画に反映していきます。

　皆さんも、家族や友人と、まちづくりへの夢や期待を語り合ってみませんか。思いがけない意見やアイデアが生まれるかもしれません。